

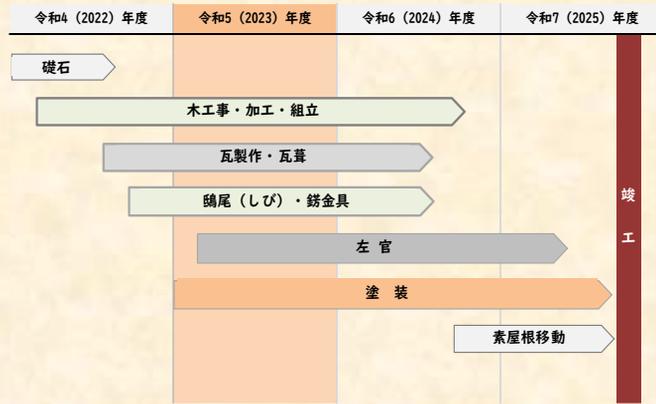
平城宮跡・東楼復原工事 現場だより 創刊号

奈良時代に今を感じる 伝統技能の継承現場

国営平城宮跡歴史公園は「古都・奈良の文化財の歴史的・文化的景観の中で、平城宮跡の保存と活用を通じて、“奈良時代に今を感じる”空間を創出する。」ことを目指し、整備が進められています。

公園内でも、ひときわ目を引くのが朱雀門、第一次大極殿(正殿)、大極門(南門)などの復原建造物。復原には古代建築の伝統技能を継承する様々な分野の多数の工匠の技・経験・知識が活かされており現在、東楼の復原工事が始まっています。

現場だより 創刊号



今、知りたい～現場進捗～

現在、大極門(南門)に続き東楼の復原工事を令和七年度の完成に向けて取り組んでいます。「現場だより」では、この東楼の工事現場より「今、何が行われているか」を定期的にお知らせします。

さぁ行こう！～魅せる!現場～

毎週、火曜日に現場見学ガイド～魅せる!現場～を開催(10名～団体向け)。現場内で宮大工をはじめとする伝統技能職人の仕事に触れる可能性もあります。ご興味のある方は下記サイトで申込みを受けつけております。



今後の展望

本事業に関係するご案内・ご紹介、現場の作業状況報告、見学会後の報告等を定期にお知らせします。

編集者紹介

編集長(京都営繕事務所長 橋本)

「近鉄奈良線の大和西大寺と新大宮の間、車窓から見えるのが、東楼の工事現場の覆い(=素屋根)です。この現場だよりを通じて、随時、車窓からは見ることのできない覆いの中の様子を発信していきますので、よろしく願います!」

■現場見学ガイド ～魅せる!現場～
～2024年12月末※(終了時期未定)

■申込みサイト

<https://www.kkr.mlit.go.jp/kengaku/moushikomi/moushikomi.html>

見学申込み



京都営繕事務所



■近畿地方整備局 京都営繕事務所

〒606-8395

京都市左京区丸太町通川端東入ル東丸太町3-12

【お問い合わせ】

E-Mail: kkr-soudan-kyoei@milt.go.jp

平城宮跡・東楼復原工事 現場だより 第2号

奈良時代を今に感じる 伝統技能の継承現場

温風至（あつかぜいたる、七十二候）
気温があがるとともに温かな風が吹いてくる頃。温風とは南風のことをあらわしており、この頃に吹く風を「白南風しろはえ」と呼びます。雲間から差し込む日差しも強くなっていきます。平城宮跡の朱色の柱が更に色鮮やかに見える季節になりました。

次号からも二十四節気七十二候の日本の細やかな季節の移り変わりを感じて頂けたらと思います。

今、知りたい～現場進捗～

7月時点では、外側の柱（側柱）16本中、14本の建方が完了しております。これからの作業としては、耐震フレームに固定する4本の側柱の建方をしていきます。



魅せる現場 第一回見学会

さあ行こう！～魅せる！現場～

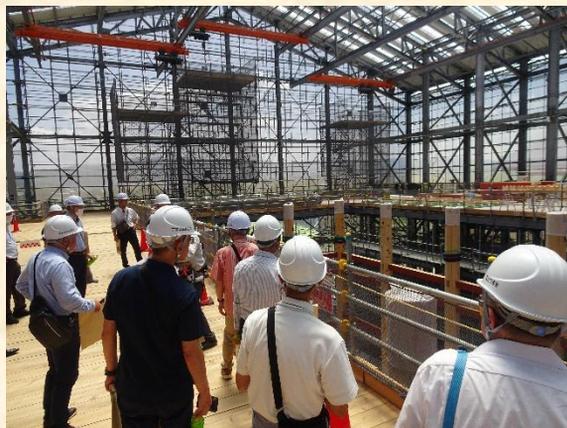
日時：令和5年7月11日（火）

参加：36名

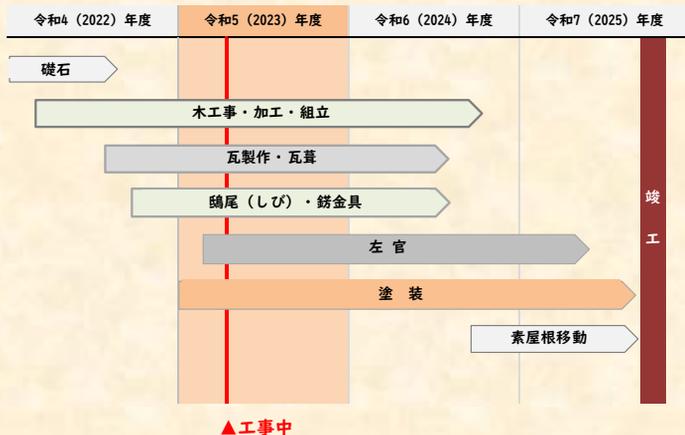
第1回目の魅せる現場には、建設業関係者36名が参加しました。

参加した見学者からは次のような意見が寄せられました。

- ・「長い歴史の中に自分が立っていることに非常に感動」
- ・「伝統を引き継ぎながらの施工の大変、大切さが分かった。」
- ・「現代技術と奈良時代の技術を融合し、復原されており印象に残った。」



平城宮跡の工事概要を現場及び復原情報館で説明することで、古都奈良をより身近に感じてもらいました。



■現場見学ガイド ～魅せる！現場～
～2024年12月末※（終了時期未定）

■申込みサイト

<https://www.kkr.mlit.go.jp/kengaku/moushikomi/moushikomi.html>

見学申込み



■近畿地方整備局 京都営繕事務所

〒606-8395

京都市左京区丸太町通川端東入ル東丸太町34-12

京都営繕事務所



奈良時代を今に感じる 伝統技能の継承現場

魅せる現場 第二回見学会

草露白（くさつゆしろし、七十二候）草や花の上に降りてきた朝露が、白く光って見える季節となり、この時期は朝晩と昼の寒暖差が大きく、夜の空気が冷やされることで朝に露ができる頃とされています。平城宮跡の現場も少しずつ秋の気候になってきました。

今回のレターは、魅せる現場の実施報告です。東京から大学生20名が来場。鋭い質問で私達、現場サイドもドキドキ。今回の復原では何を目標としているのか等、いただきました質問について今後のレターの内容に盛り込んでいきたいと思えます。

今、知りたい～現場進捗～

がわばしら

9月上旬、外側の柱（側柱）の建方が完了しました。次の作業としては内部の柱（束柱）の建方をするために内部足場を組み建てていきます。



がわばしら
側柱

さぁ行こう！～魅せる！現場～

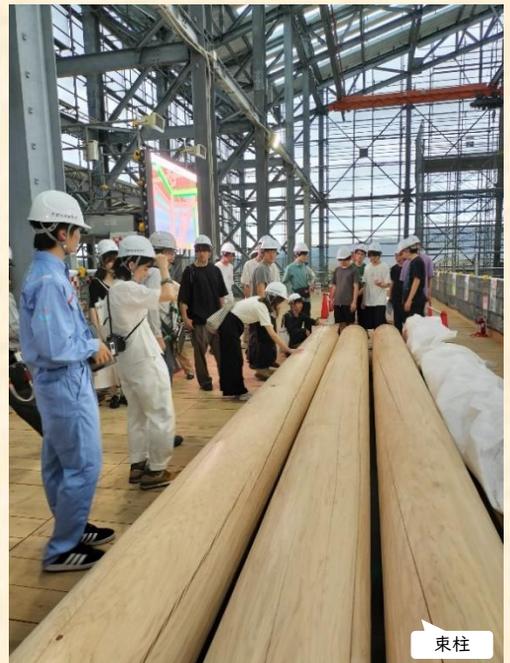
日時：令和5年9月12日（火）

参加：大学生20名

第2回目の魅せる！現場には、未来の建設業界を担う東京の大学に通う大学生20名が参加しました。

参加した見学者からは次のような意見が寄せられました。

- ・「保存とは何かと考えさせられた」
- ・「BIMモデル（3D）を用いた説明が分かりやすかった」
- ・「奈良時代の当時の技法、手法が尊重されている点が興味深い」



束柱

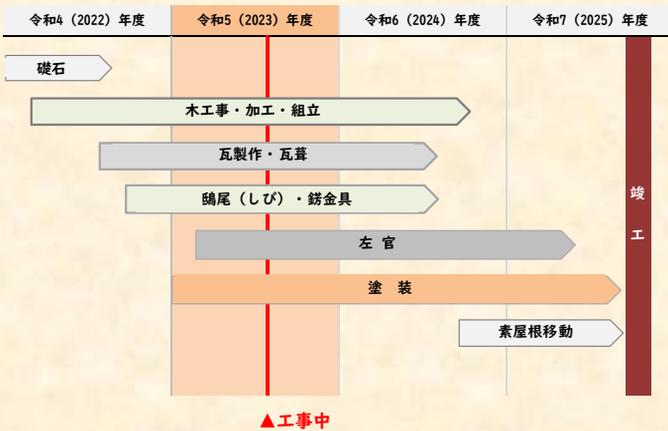


瓦



ひじき肘木

宮大工による木材加工工程の見学や実際に使う瓦を手を持って感触を確かめてもらいました。その他BIMを使用した説明により、理解を深めてもらいました。



■現場見学ガイド ～魅せる！現場～
～2024年12月末※（終了時期未定）

■申込みサイト

<https://www.kkr.mlit.go.jp/kengaku/moushikomi/moushikomi.html>

見学申込み



■近畿地方整備局 京都営繕事務所

〒606-8395

京都市左京区丸太町通川端東入ル東丸太町34-12

京都営繕事務所



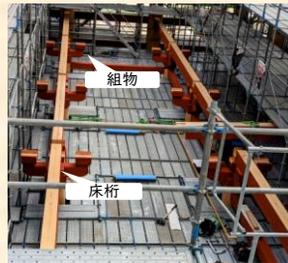
平城宮跡・東楼復原工事 現場だより 第4号

奈良時代を今に感じる 伝統技能の継承現場

水始涸（みずはじめてかる、七十二候）田の水を落として、稲穂の刈り入れを始めるころ。稲穂は頭が垂れ、黄金色に輝く田が秋の深まりを感じさせます。収穫の真っ只中で、農家の方は大忙しです。見学会も第3回となり、現場説明もノリに乗っています。

今、知りたい～現場進捗～

10月上旬では内側の柱（東柱）や柱の上の組物（大斗、肘木、斗）、床桁の組立をしております。



魅せる現場 第三回見学会

さぁ行こう！～魅せる！現場～

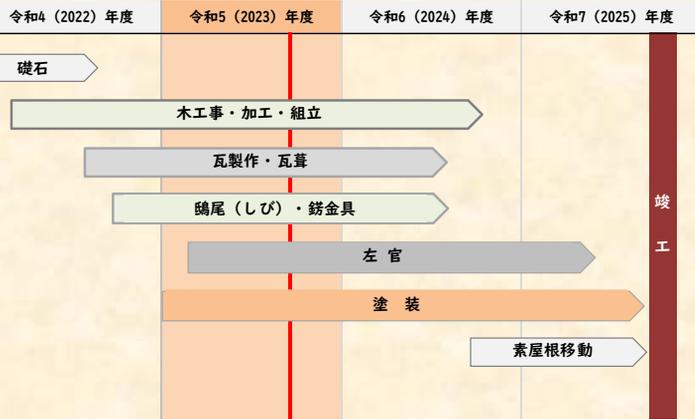
日時：令和5年10月3日（火）

参加：23名

第3回目の魅せる現場には、土木に精通した建設業関係者の23名が参加しました。

参加した見学者からは次のような意見が寄せられました。

- ・「木材に割れ目があっても強度を保てる事に驚いた。」
- ・「木材の切り出し方が、原寸図から切り出しているのが印象に残った。」
- ・「現代の建築物、インフラ整備とは全く異なる事に興味深い」



豆知識（一番長い側柱編）

- ・木材の種類：檜
- ・樹齢：200～300年
- ・調達地域：奈良、三重、和歌山、岐阜県
- ・柱の長さ：12.1m（清水寺の舞台の柱より長い）

組物や伝統工具の見学、そしてそれらに実際に触れていただき、当時の技法を感じていただきました。

■現場見学ガイド ～魅せる！現場～
～2024年12月末※（終了時期未定）

■申込みサイト

<https://www.kkr.mlit.go.jp/kengaku/moushikomi/moushikomi.html>

見学申込み



■近畿地方整備局 京都営繕事務所

〒606-8395

京都市左京区九太町通川端東入ル東丸太町34-12

京都営繕事務所



奈良時代を今に感じる 伝統技能の継承現場

菊花開（きくはなひらく 七十二候）
 菊の花が咲き始めるころ。各地で菊まつりや菊の品評会が開かれます。菊が咲くころ、青空が晴れ渡ることを菊晴れといいます。菊の花は奈良時代、中国から日本に伝わり、初めは薬草として使われていたそうです。

今、知りたい～現場進捗～

柱の上部にある材斗だいとを組み立てる作業をしています。柱の上部へ補強プレートや大釘の打ち付け作業中です。



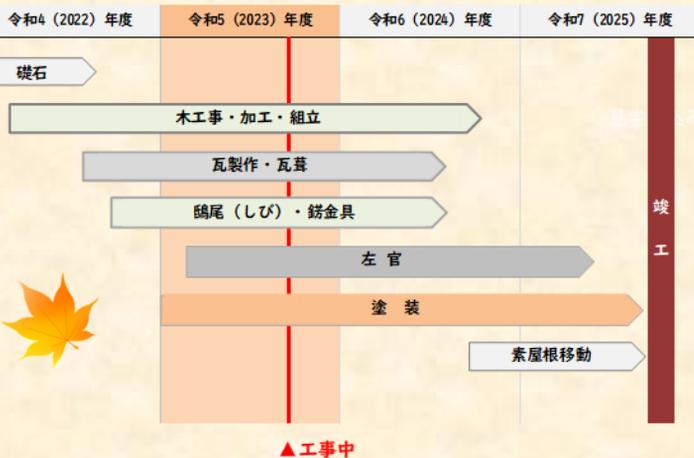
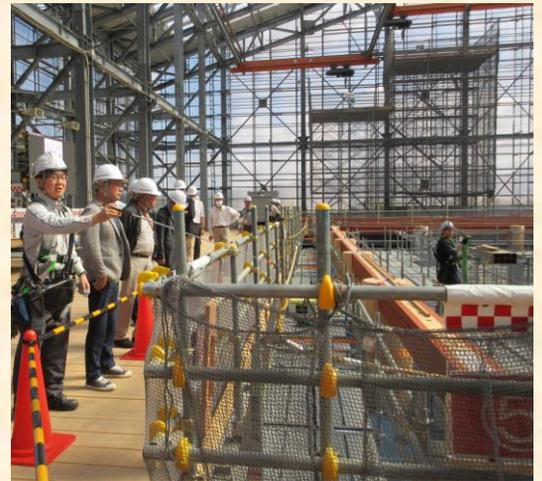
魅せる現場 第四回見学会

さあ行こう！～魅せる！現場～

日時：令和5年10月17日（火）
 参加：13名

第4回目の魅せる現場には、伊賀市の建設業関係者他13名が参加しました。参加した見学者からは次のような意見が寄せられました。

- ・「伝統技術を用いた施工への取組に感動」
- ・「BIMの活用など伝統技術と最新技術の融合が印象深い」
- ・「荒壁土あらかべの造成現場が印象に残った」



豆知識（木材の搬出編）

今回の工事で使用する柱などの長尺大径材の一部は道の繋がっていない山奥から切り出しています。ヘリコプターで輸送可能な重量にするため、伐採した山で製材してから輸送しています。

昭和30年前半までは人力で搬出しており、山には牛道が残されています。現状では長尺大径材の約9割がヘリで搬出しています。

宮大工による作業見学・荒壁土あらかべの造成見学・3Dモデルを用いた鴟尾しびの解説により、伝統技術と共に生産性向上に関わる技術について理解を深めてもらいました。

■現場見学ガイド ～魅せる！現場～
 ～2024年12月末※（終了時期未定）

■申込みサイト

<https://www.kkr.mlit.go.jp/kengaku/moushikomi/moushikomi.html>

見学申込み



■近畿地方整備局 京都管轄事務所

6,06-8395

京都市左京区丸太町通川端東入ル東丸太町34-12

京都管轄事務所



奈良時代を今に感じる 伝統技能の継承現場

霜始降（しもはじめてふる 七十二候）
北国や山里では霜が降り始めるころ。だんだんと冬が近づいてきました。霜は、空気の中にある水蒸気が氷点下に冷えたものに触れてできる氷の結晶のこと。昔は、雪と同じように空から降ってくると思われていました。そのため、霜は「降る」といいます。

魅せる現場

さぁ行こう！～魅せる！現場～

日時：令和5年10月24日（火）

参加：25名

第5回目の魅せる現場には、建設業関係者25名が参加しました。

参加した見学者からは次のような意見が寄せられました。

- ・「伝統建築の現場はとても貴重で、大人も子供も楽しめる見学会だと思った。」
- ・「檜鉋の仕上げたものを手で触れ、塗装後の状態も確認できたのが印象に残った。」
- ・「古人の知恵を現代の職人が受け継ぎ、それらを残す工夫と知識に感動した。」

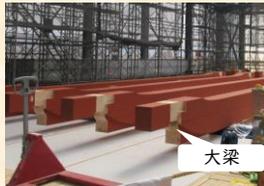
第五回見学会

今、知りたい～現場進捗～

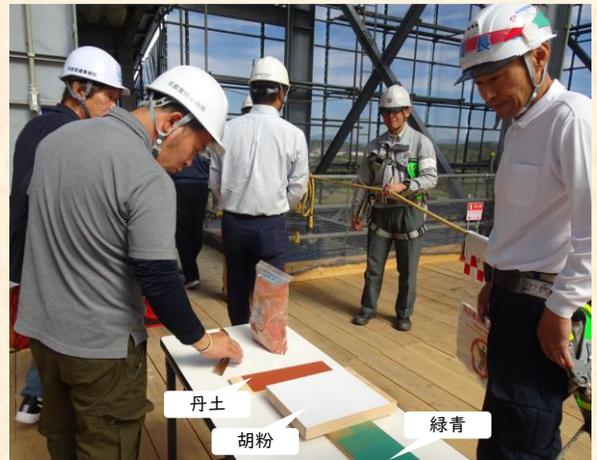
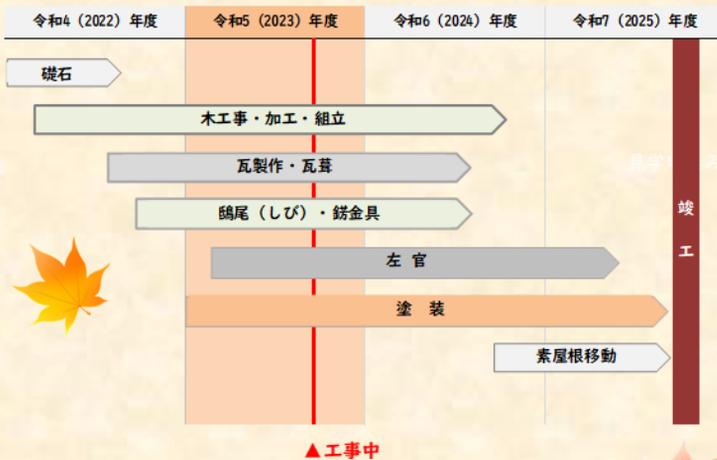
- ・ 漆喰仕上げ用の荒壁土の造成中
- ・ 大梁等への塗装作業（丹土）



荒壁土



大梁



丹土

胡粉

緑青

豆知識（木材の管理編）

江戸時代に普及した背割り技法（木材に切り込みを入れてひび割れを抑制する）は、奈良時代にはありませんでした。

今回の復原工事では、背割りを入れてない為、芯を持つ材は収縮率が異なることから乾燥して割れが生じないように時間と手間をかけて自然乾燥させ適切に管理しています。



塗装職人による伝統塗装（丹土・緑青・胡粉）の解説や檜鉋仕上げの木材に触れていた
だき当時の技法を感じてもらいました。

■現場見学ガイド ～魅せる！現場～

～2024年12月末※（終了時期未定）

■申込みサイト

<https://www.kkr.mlit.go.jp/kengaku/moushikomi/moushikomi.html>

見学申込み



■近畿地方整備局 京都管轄事務所

6・06-8395

京都市左京区丸太町通川端東入ル東丸太町34-12

京都管轄事務所



奈良時代を今に感じる 伝統技能の継承現場

雲時施（こさめときどきふる 七十二候）
ぱらぱらと小雨が降りだすころ。通り雨のよう
に雨が降ったかと思えばすぐにやみ、雲間
から青空が顔を出します。初時雨は、山の動
物たちが冬支度を始める合図だといわれ、こ
れからくる冬の寒さに備えます。

さぁ行こう！～魅せる！現場～

日時：令和5年11月1日（水）
参加：高校生（建築学科1年生）55名

今回の見学会は、発注者・施工者の役割や、
伝統技能についての理解を深め、学生の社会
に出る時の選択肢を考える支援のため、現場
担当職員が卒業した学校へ働きかけ実現しま
した。

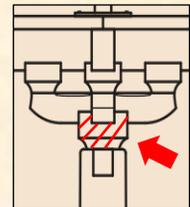
魅せる現場 第六回見学会

参加した学生達からは次のような感想が
寄せられました。

- ・「建設する際の工夫が隅々まで見学でき、
特に^{しび}鷗尾の復原のための模型を3Dプリン
ターを使って作っていたのが印象的でした」
- ・「現場の広さや置かれてる機械、建築物
のパーツ等の大きさがプロジェクトの
壮大さを物語っていた」
- ・「12^{やりかん}の柱を昔の道具、槍鉋で丸く加工
しているのが印象に残った」



今、知りたい～現場進捗～



- ・現在、大斗（だいと）を柱の上に取り付けています。

豆知識（木の自然乾燥編）

- ・伐採した木材は直ちに山から搬出せずに枝を残し、枝から水分を蒸発させ乾燥させてから搬出します。（葉枯らし乾燥）

これにより製材後の反りが少なくなり、養分の減少で虫やカビが付きにくくなります。



■現場見学ガイド ～魅せる！現場～
～2024年12月末※（終了時期未定）

■申込みサイト

<https://www.kkr.mlit.go.jp/kengaku/moushikomi/moushikomi.html>

見学申込み



■近畿地方整備局 京都営繕事務所

606-8395

京都市左京区丸太町通川端東入ル東丸太町34-12

京都営繕事務所

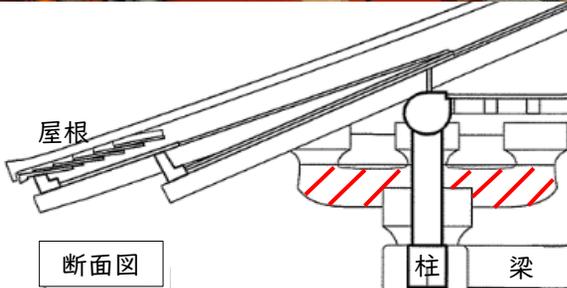


金盞香（きんせんかさく 七十二候）
水仙の花が咲き始めるころ。金盞とは、黄色い冠を持つ水仙の別名です。黄色い部分を黄金の杯に、白い花弁を銀の台にたとえて金盞銀台（きんせんぎんだい）とも呼ばれます。上品で香り高く、人気のある花です。

今、知りたい～現場進捗～



深い軒を支えるための肘木組立状況



魅せる現場

第七回見学会

さあ行こう！～魅せる！現場～

日時：令和5年11月21日（火）10：30～
参加：19名

今回の見学会は四日市市の商工会関係者が参加しました。参加した皆様からは次のような感想が寄せられました。

- ・「当時の施工方法や部材を再現しながらの工事の大変さが分かる一方、現場担当者は楽しいだろうなと思った」
- ・「昔と現代の建物の構造の違いが良く分かった」
- ・「現場管理者の説明がとても分かりやすく、建物の仕組みが理解できた」

昔の工事風景



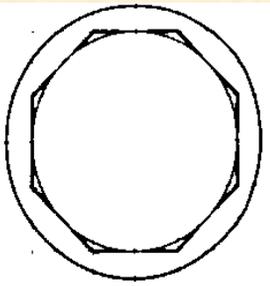
「松崎天神縁起絵巻」鎌倉時代末期の建築工事現場 山口防府天満宮所蔵

本工事での作業風景



豆知識（木材加工編）

円形の部材は、チョウナ加工により原木を順に角をとりながら8、16角形と徐々に円に仕上げていきます。



チョウナ加工

■現場見学ガイド ～魅せる！現場～
～2024年12月末※（終了時期未定）

■申込みサイト

<https://www.kkr.mlit.go.jp/kengaku/moushikomi/moushikomi.html>

見学申込み



■近畿地方整備局 京都営繕事務所

6,06-8,395

京都市左京区丸太町通川端東入ル東丸太町34-12

京都営繕事務所



小春日和（こはるびより 冬の季語）
その名前から、暖かな春の日を思い浮かべそうですが、小春日和はそろそろ雪が降り始めるころにふと訪れる春のように暖かい日のことをいいます。何日か暖かい日が続くと、春の花が勘違いをして咲き出すこともあります。

今、知りたい～現場進捗～

・大梁の組立・

建物を支える部材の中で鉛直方向（たて方向）に設置する部材を柱。水平方向（よこ方向）に配置する部材を梁（はり）や桁（けた）と言います。梁の中で柱と柱をつなぐ部材を大梁と言います。現在、東楼の現場では大梁の取付作業が進んでいます。



大梁

桁

さぁ行こう！～魅せる!現場～

日時：令和5年11月21日（火）13：30～
参加：13名

今回の見学会は田原市商工会の関係者が参加しました。見学者の中に大極門（南門）の工事に携わった元宮大工の方がいらっしゃいました。ヤリガンナの話やレクチャーをされて、現場はかなり盛り上がりました。



魅せる現場 第八回見学会

豆知識（木材表面仕上げ編）



ヤリガンナ仕上げ

チョウナ加工で荒取り後、ヤリガンナで表面を仕上げます。ヤリガンナは弥生時代から普及しました。台ガンナの普及により使用する機会が減っていきました。

今回の見学会は、元宮大工の方も参加していたこともあり、視点が異なる質問ややりとりが多く、伝統技術について、理解を深める機会となりました。

参加した皆様からは次のような感想が寄せられました

- ・「素屋根の設備や大きさに感動した」
- ・「工事現場がとても綺麗で、建設業の見方が変わった」
- ・「現場管理者のモニターやタブレット使用した説明がとても分かりやすかった」

■現場見学ガイド ～魅せる！現場～
～2024年12月末※（終了時期未定）

■申込みサイト

<https://www.kkr.mlit.go.jp/kengaku/moushikomi/moushikomi.html>

見学申込み

京都営繕事務所



平城宮跡・東楼復原工事 現場だより 第10号

奈良時代に今を感じる 伝統技能の継承現場

○今年度、9回目（累計見学者217名）の平城宮跡・東楼復原工事の魅せる現場！には小学生（2～6年生）が来てくれました。復原工事の建築現場を通し、建築の魅力が伝わるように「みて・ふれて・体験」をテーマに開催しました。

日時：令和5年11月23日（木）10:00～12:00

参加者：兵庫県内の小学生（13名※引率者含）



①みて（建物の部材を知ろう！組み立て方法を知ろう！）



②ふれて（加工方法や組み立て方法を知ろう！）



③体験（継ぎ手組合せ体験、組木体験！）



児童の感想！

- ・格好良くて自分もやりたい！
- ・迫力がすごい！
- ・色々な組立や柱についてよく知れた。
- ・一つの建物を建てるのに色々な工夫をしているんだと思った。

■現場見学ガイド ～魅せる！現場～
～2024年12月末※（終了時期未定）

■申込みサイト

<https://www.kkr.mlit.go.jp/kengaku/moushikomi/moushikomi.html>

見学申込み 京都営繕事務所



奈良時代を今に感じる
伝統技能の継承現場

第11号

新春号

平城宮跡・東楼復原工事
現場だより

工事進捗報告
R6年 元旦

あけましておめでとうございます
今年も「現場だより」をよろしくお願い致します！

編集委員一同

近畿地整備局 京都営繕事務所
京都市左京区丸太町通川端東入ル東丸太町34-12

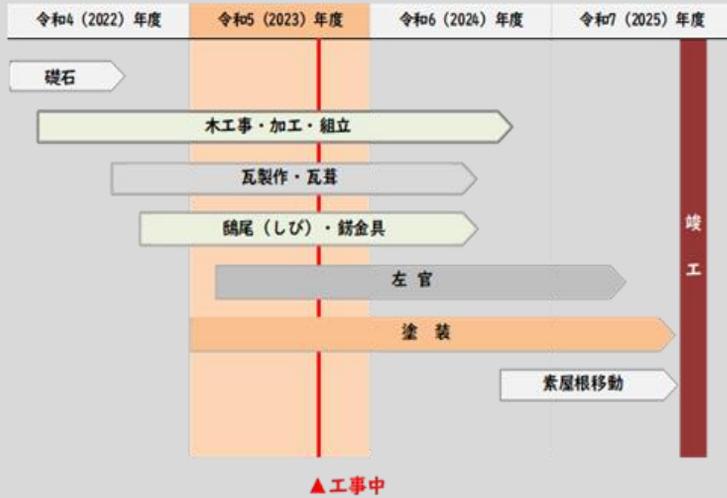
見学申込み 京都営繕事務所

現場見学ガイド ～魅せる！現場～
～2024年12月末※（終了時期未定）

<https://www.kkr.mlit.go.jp/kengaku/moushikomi/moushikomi.html>



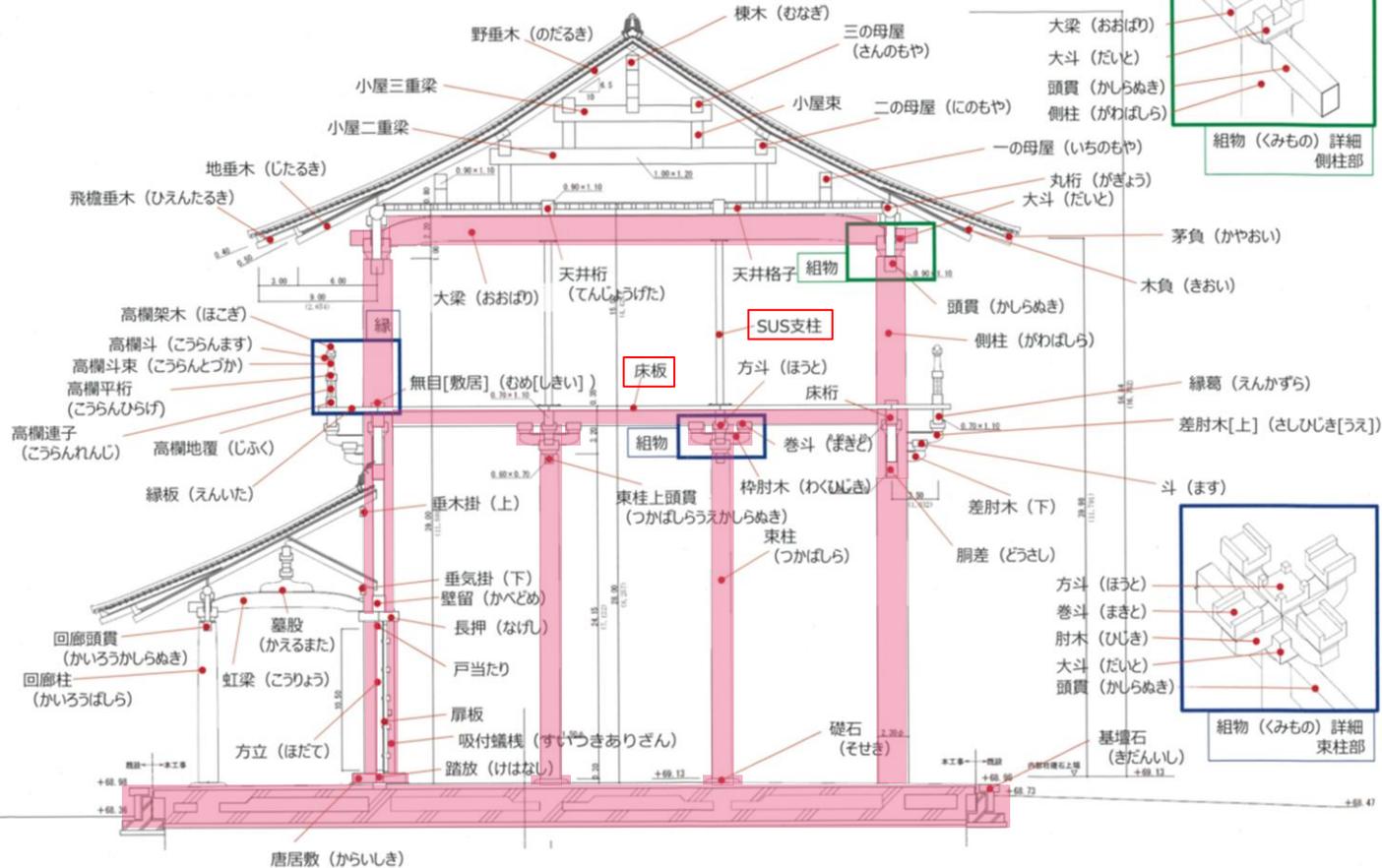
現在の進捗状況



春の上棟を目指し、床板の設置を行っております。床板を設置後、長さ12mの大梁が重さに耐えられるようにステンレス支柱を設置していきます。

平城宮跡東楼 部材名称断面図

：主な組み立て完了部材を示す



近畿地整備局 京都営繕事務所
京都市左京区丸太町通川端東入ル東丸太町3-4-12

見学申込み 京都営繕事務所

現場見学ガイド ~魅せる!現場~
~2024年12月末※(終了時期未定)

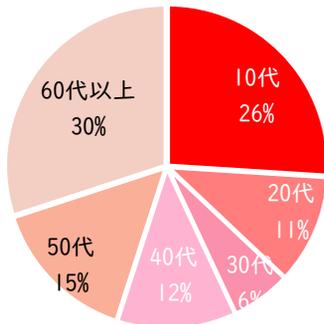
<https://www.kkr.mlit.go.jp/kengaku/moushikomi/moushikomi.html>



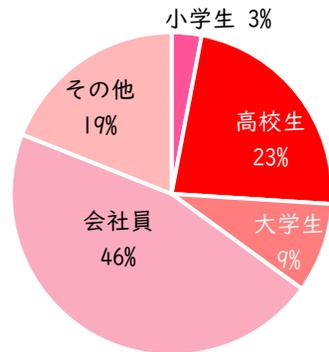
魅せる！現場 第1回～9回 アンケート結果発表

参加者 218名

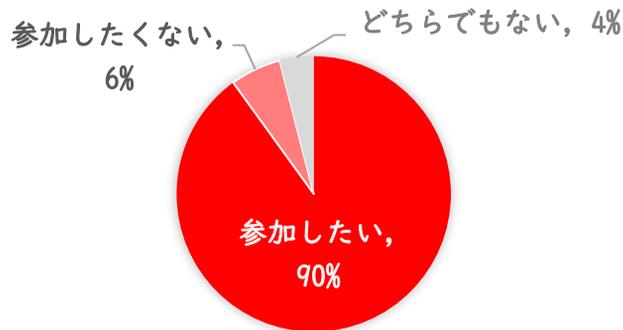
年齢



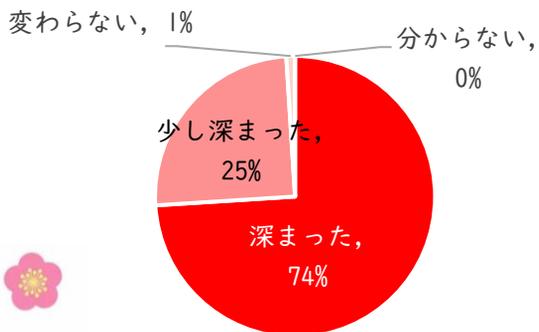
職業



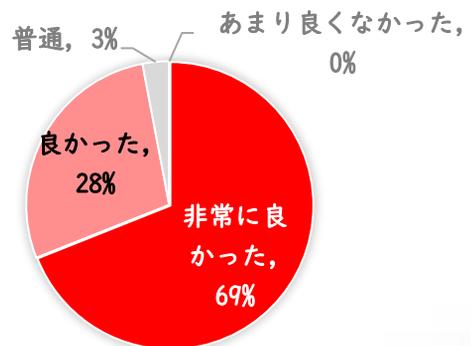
今後の「魅せる！現場」見学会の参加について



復原工事への理解度



見学感想



アンケート
ご協力ありがとうございました！



「現場見学会」で印象に残ってたこと

男性	60代以上	長い歴史の中に自分が立っていること事に非常に感動しました。また機会があれば是非訪れたいです
男性	60代以上	説明の一つ一つが丁寧でわかりやすかった。特に実際の作業工程の説明は具体的で大変良かった
男性	60代以上	伝統を引継ぎながらの施工の大変さが分かった
男性	20代	復原の場に関して見た目のみに限らず、当時用いられていた工法まで再現し、手が掛かってでも実現させようとする拘りが印象に残りました。
男性	20代	3Dのモデルをしようした説明など目で見てわかりやすい説明で理解が深まった
男性	20代	原寸場という加工現場があることを初めて知り、宮大工さんの仕事道具を見ることができたこと
男性	20代	昔の建物を復原するにあたって、完成に昔の技術だけを使うのではなく、現代の技術と兼ね併せて行われたことが非常に面白かった
女性	20代	日本の貴重な歴史の価値を伝える建築として、必ずしも精巧で美しく仕上げるのではなく、奈良時代の当時の構法、手法が尊重されていた点が印象深かった
男性	20代	掘っ立て柱に関して、当時の埋込深さの再現よりも遺構を維持することを優先し埋込を浅くしていた点。保存とは何か考えさせられました
男性	20代	柱などの実物に触れる機会がとても良かったです
男性	20代	宮大工さんから実際の木工仕事のお話を聞く機会はなかなか無いと思うので貴重な体験ができて良かったです
男性	60代以上	柱の大きさと規模（日本一）
男性	20代	木材の切り出し方が原寸図から削り出しているところが印象に残りました。現代の建築物、インフラ整備とは施工方法が全く異なる事が興味深し
男性	50代	施工道具、施工方法も当時と同じ方法で復原されているところ
男性	50代	宮大工の技術の高さを改めて認識できました
男性	50代	歴史的建造物を再現する現場を見ることができて良かった。柱の大きさがすごかった
男性	50代	伝統技術を用いた施工への取組、BIMの活用など伝統技術と最新技術の融合
男性	60代	奈良時代の仕口等を見ることができた。復原の大変さがわかった
男性	60代以上	古人の知恵を現代の職人が受け継ぎ、当初の良い形を残しながら、残していこうとする工夫・知識
男性	50代	安全に配慮され整理の行き届いた作業所だった
男性	50代	12メートルの柱を立てる難しさ。道具まで昔の時代を再現して使用している点
男性	40代	加工場の原寸加工のやり方。柱の建て込み方
男性	60代以上	普段殆ど見ることの出来ない貴重な至宝級の建物の「中身」を目の前で見れて感銘しました。特に最後の寺門の塗装職人さんの説明が大変参考になりました。ありがとうございました
男性	10代	大きな柱に使う丸太を昔の技術で丸く綺麗に削っていたこと
男性	10代	その時代にあった道具を使っているところ。木材にも種類があるところ
男性	10代	装飾が綺麗だった
男性	10代	12メートルの柱を昔の道具だけで丸く加工しているのを知って凄いと思った。それでも4～5年で完成させられたのがより凄いと思った

「現場見学会」で印象に残ってたこと

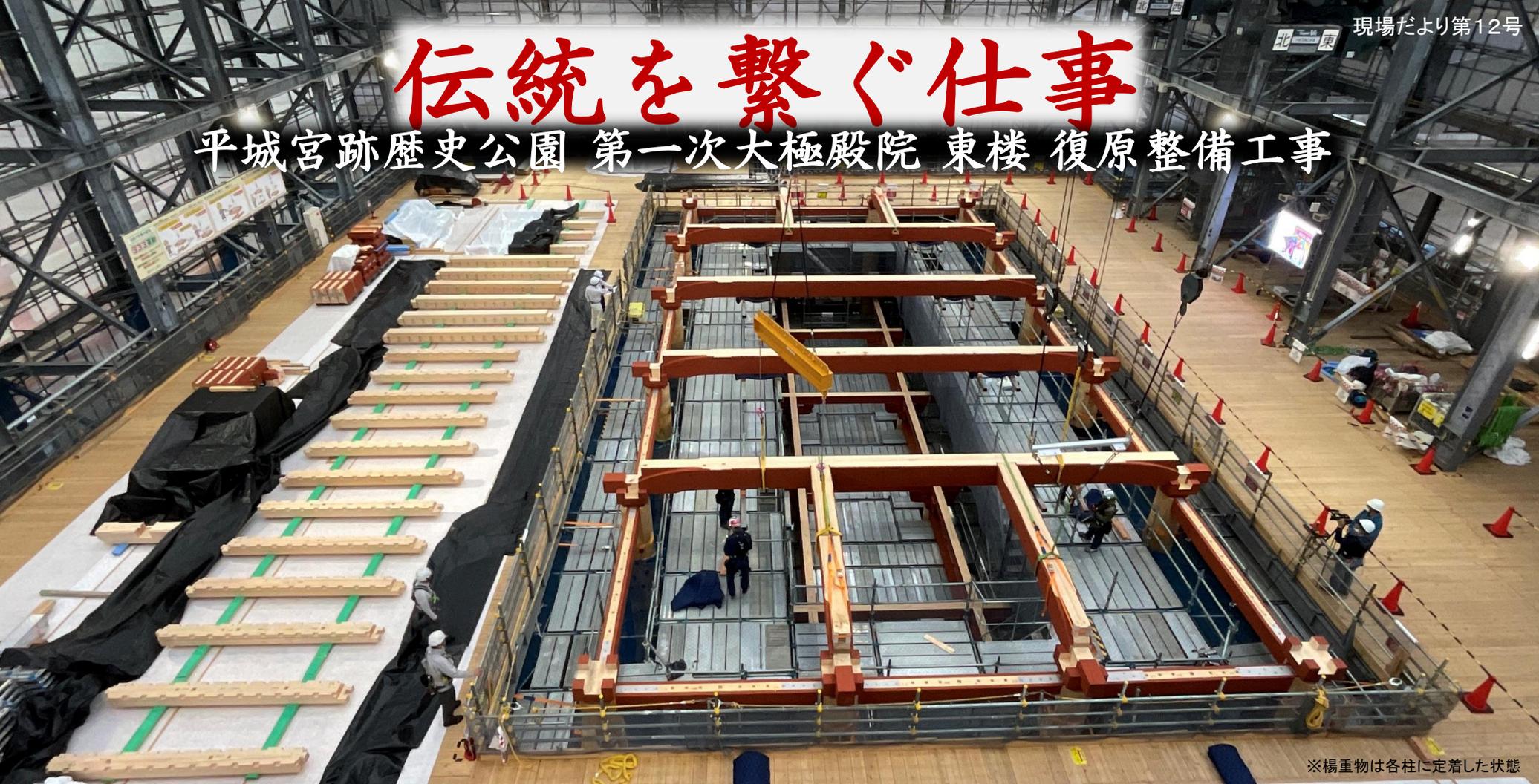
男性	10代	様々な式法でどう建てるのかとか、瓦一つ一つの特徴を見て一つずつ合わせる所とかが凄かった
男性	10代	一から何もない所から、仲間と協力して大きな建物を作る所がとても面白かった。事務所の建物などもあり働く人の為の設備もしっかりしているなどと思いました
男性	10代	現場の広さやそこにあった機械や建築物のパーツ等の一つ一つの大きさが、プロジェクトの壮大さを物語っていたのが印象的でした
男性	10代	建築する際の工夫が隅々まで見れたので凄く印象に残り感心しました。特に鷗尾の復原を行う際に何度も3Dプリンターで作っていたところです
男性	40代	当時の施工方法や部材を再現しながらの施工は大変だろうと思う一方、現場担当は楽しんだろうなど
男性	60代以上	現場の方々が非常に神経を使い作業されていた。感謝の気持ちが出てくる
女性	50代	説明がとても分かりやすく、建物の仕組みもよく理解できたところ。実際の工事現場に入れて頂くことはないので、とても良かった
男性	30代	現場が綺麗であった。建設業の見方が変わった
男性	40代	仮設が凄い。現場内が綺麗。歴史的建物が見れて良かった。モニター、タブレットを使っての説明がわかりやすい
男性	50代	素屋根内での見学。間近に見れて良かった

「現場見学会」への意見、要望

男性	50代	見学会を通じ理解を進む事から継続して開催を願いたい
男性	60代以上	色々な現場を見せて欲しい。時期は季節毎に行って欲しい
男性	60代以上	時間がかかっても完全復原を終えてください
男性	20代	貴重な体験をさせて頂きありがとうございました
男性	20代	BIMでの説明が分かりやすかった
男性	50代	今後もこのような取組を続けて欲しい
男性	50代	整備局の見学会は非常に参考になるので、これからも続けていただきたい
男性	50代	住宅の大工工事をやっていたので、寺社の現代大工工事が見れて良かった
男性	50代	施工の様子等の動画配信などがあればより理解が深まるのではないかと思います
男性	50代	施工途中の貴重な現場を見学でき、とても勉強になった
男性	60代以上	今後も見学会を実施してください。(特に国及び地方を代表する建物等)
男性	60代以上	一般の方にも見て頂きたく、特に地元の方が見られると建物への愛着がうまれると思います
男性	50代	場内歩きやすく、整備されていた
男性	30代	なかなか文化財的な建築物の現場を見ることはないので、こうした機会が増えるなら是非参加したい
男性	40代	案内役の方の説明が上手だった
男性	50代	見学会の対応は大変かと思いますが、見学者にとって貴重な機会になりますので、無理のない範囲で継続して頂ければと思います
男性	10代	私たち学生に良い経験をさせて頂きありがたいです
男性	60代以上	時間がかかっても完全復原を終えてください
男性	30代	説明が丁寧で分かりやすかった
男性	40代	同じ建設業として大変勉強になった

伝統を繋ぐ仕事

平城宮跡歴史公園 第一次大極殿院 東楼 復原整備工事



※揚重物は各柱に定着した状態

私が紹介します！



竹中工務店 大阪本店 作業所 建築担当
たにざき しゅんすけ
谷崎 俊介
2019年入社(28歳)
最近のニュース
12月に結婚したので家に帰るのが楽しみです。

この特集は3部作構成でお送りします。

仕事への取組み

我々の仕事は安全や品質を確保しながら設計図通りのものを期日まで完成し、引き渡すできるように計画・調整して作り込み、日々の検査などを通して管理することです。
仕事で大切にしていることは、その道のエキスパートである職人さんに指示する立場として、感謝の言葉を伝えることや職人さんの声に真摯に耳を傾けることです。そうして出来上がる作品はやはり綺麗だと思います。
一見とてもありきたりなことですが、技術がどれだけ進歩しても一番大切なものは昔から変わらないと思います。

作業所メンバー



左から
高岡秀和、宮本宗樹現場代理人、藤原勇所長、森田誠人、時川敬
陽本哲平、橋本慧、谷崎俊介(私)、矢田浩二

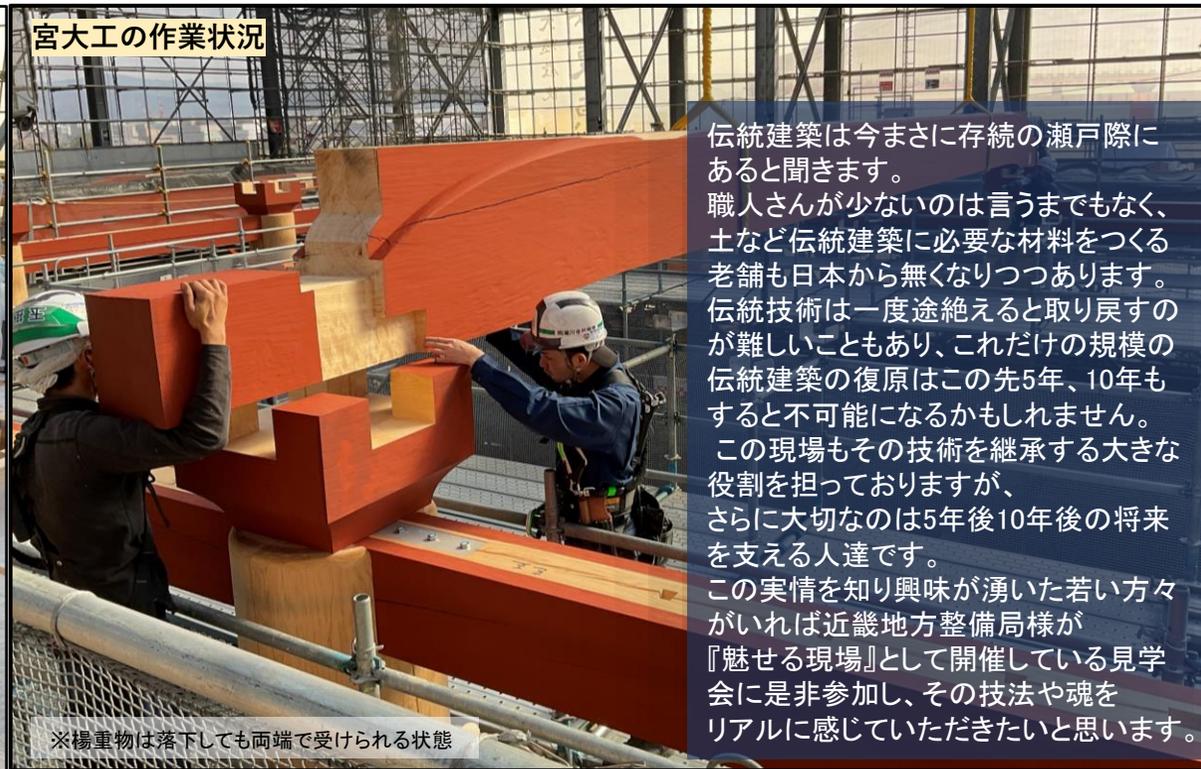
完成イメージ



検査の様子



宮大工の作業状況



伝統建築は今まさに存続の瀬戸際にあると聞きます。

職人さんが少ないのは言うまでもなく、土など伝統建築に必要な材料をつくる老舗も日本から無くなりつつあります。伝統技術は一度途絶えると取り戻すのが難しいこともあり、これだけの規模の伝統建築の復原はこの先5年、10年もすると不可能になるかもしれません。

この現場もその技術を継承する大きな役割を担っておりますが、さらに大切なのは5年後10年後の将来を支える人達です。

この実情を知り興味が湧いた若い方々がいれば近畿地方整備局様が『魅せる現場』として開催している見学会に是非参加し、その技法や魂をリアルに感じていただきたいと思います。

※揚重物は落下しても両端で受けられる状態



平城宮跡 いちに・さんぼ



「平城宮跡歴史公園」は、平城宮跡（特別史跡・世界遺産）の保存と活用を通じて、古都奈良の歴史的・文化的景観のなかで“奈良時代を今に感じる”整備を進めている公園です。今回は、奈良時代を感じる編集者がおすすめる公園散歩コースを所要時間別に紹介します。

紹介する散策コースの「平城宮跡」は、今から遡ることおよそ1300年以上前、元明天皇の「遷都の詔」により710年に誕生した「平城京」の北端中央部に置かれた宮です。宮の中には天皇の住まいや政務・儀式を行う場、役所が集まる都の中核でした。

その中核の玄関口として、第一次大極殿院（南門）の復原に続き、現在東楼を復原中。伝統工法による復原工事の魅力をお伝えする「魅せる現場（要予約）」を行っています。

東楼の「魅せる見学」の前後に時間に合わせて、健康のために公園を「奈良時代を今に感じながら」歩いてみるのはいかがでしょうか。



■現場見学ガイド ～魅せる！現場～
～2024年12月末※（終了時期未定）

■申込みサイト

<https://www.kkr.mlit.go.jp/kengaku/moushikomi/moushikomi.html>

見学申込み 京都営繕事務所





平城宮跡・東楼復原工事 現場だより 第13号



奈良時代を今に感じる 伝統技能の継承現場

少し足を延ばして南側エリアにも…



「朱雀門ひろば」

平城京のメインストリートであった朱雀大路（幅員約74m）と二条大路（幅員約37m）を、発掘調査をもとに往時の幅員で復原されています。

その当時に植えられていたとされているヤナギやエンジュが植えられており、奈良時代を今に感じる風景を感じていただけます。



朱雀門：元日や外国使節の送迎の際に儀式が行われたほか、都の男女があつまって、恋の歌をかけあうのを天皇がみるというイベントもここでこなされました。

朱雀大路の東側には平城宮跡全体のガイダンス施設である「平城宮いざない館」があります。奈良文化財研究所（独立行政法人国立文化財機構）等の協力のもと、大型映像や模型、平城宮跡を体験的に学ぶことのできるハンズオン展示、宮跡内で発掘された出土品等の展示を通じて、平城宮跡のさまざまな魅力をお伝えしています。

平城宮いざない館

朱雀大路を挟んだ西側のエリアでは、レストランやカフェ、奈良にちなんだ物産が並ぶスーベニアショップ、観光案内所、団体旅行者専用の集合施設、復原遣唐使船やVRシアターといった体験施設などがあります。観光客や団体旅行者の方々への各種サービスが提供されています。



～平城宮の巧みの技や役人の仕事を体験～
第一次大極殿の復原事にあたり製作された構造模型(1/5)を間近に見ながら、組物・瓦葺き・木簡文書づくりなどさまざまな体験を楽しめます。

体験メニュー ・古代衣装を着て記念写真 ・古代建築の組物
・木簡文書づくり ・瓦葺き



「東院庭園」



1967年、平城宮東張出し部の南東隅に大きな庭園の遺跡が発見されました。この場所は『続日本紀』にみえる「東院」にあたることから、発見された庭園は「東院庭園」となづけられました。

敷地の中央に複雑な形の汀線^{ていせん}をもつ洲浜敷の池を設け、その周囲にはいくつもの建物を配していたことが確認されました。ここでは宴会や儀式を催されていたとする説があります。



■現場見学ガイド ～魅せる！現場～
～2024年12月末※（終了時期未定）

■申込みサイト

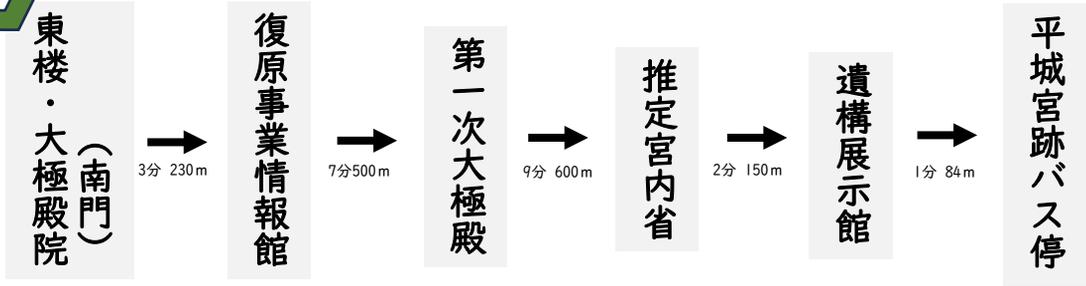
<https://www.kkr.mlit.go.jp/kengaku/moushikomi/moushikomi.html>

見学申込み 京都宮繕事務所



60
min
walk

平城宮跡歴史公園 おすすめルート (1.6km)



② 復原事業情報館

「第一次大極殿院の復原整備工事」の取組みについて分かり易く紹介し、復原事業についてより理解を深めていただくための施設です。
【OPEN】9:00-17:00



③ 第一次大極殿

天皇の即位式や外国使節との面会など、国のもっとも重要な儀式のために使われていました。
【OPEN】9:00-16:00



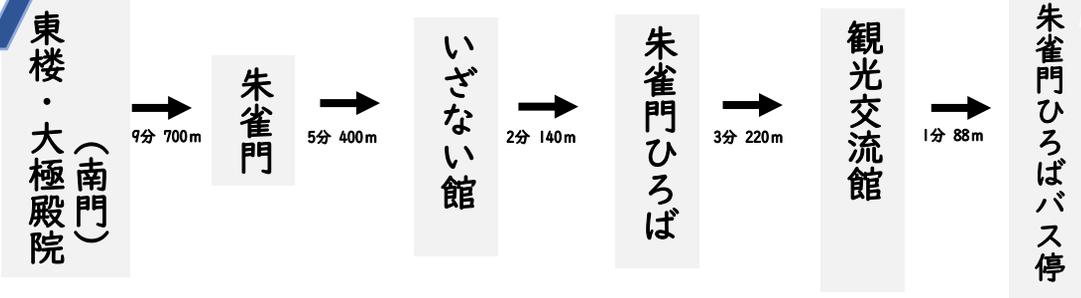
⑤ 遺構展示館

発掘調査で見つかった遺構を発見当時の状態で保存、展示しています。内裏や役所の復原模型を展示しています。
【OPEN】9:00-16:00



90
min
walk

平城宮跡歴史公園 おすすめルート (1.5km)



② 朱雀門

平城宮当時の都の入口には羅城門があり、74m幅のメインストリートである朱雀大路を北へ3.7km歩くと、突き当たりが平城宮の正門「朱雀門」でした。

【OPEN】9:00-16:00



③ 平城宮いざない館

奈良時代の平城宮を体感する施設。出土品や資料のよみとときに驚き、公園のいまを楽しむなどの体験を通して、平城宮跡の多彩な魅力を発見することができます。

【OPEN】9:00-17:00



⑤ 観光交流施設

天平みはらし館、天平つどい館、天平みつき館、天平うまし館の施設があります。VRシアターや平城宮跡を見渡せる場所と世界遺産を眺めながらお食事やお買い物ができます。

【OPEN】9:00-17:00、18:00、19:00



近畿地整備局 京都営繕事務所

京都市左京区丸太町通川端東入ル東丸太町34-12

見学申込み



京都営繕事務所



120
min
walk

平城宮跡歴史公園 おすすめルート (4.4km)



東楼・大極殿院
(南門)

9分 700m

朱雀門

5分 400m

いざない館

15分 1.1km

東院庭園

10分 750m

推定宮内省

2分 140m

遺構展示館

7分 500m

第一次大極殿

9分 650m

平城宮跡資料館

2分 180m

二条町二丁目バス停



2 朱雀門

平城宮当時の都の入口には羅城門があり、74m幅のメインストリートである朱雀大路を北へ3.7km歩くと、突き当たりが平城宮の正門「朱雀門」でした。

【OPEN】9:00-16:00



3 平城宮いざない館

時空を超えて奈良時代の平城宮を体感し、出土品や資料のよみとときに驚き、公園のいまを楽しむなどの体験を通して、平城宮跡の多彩な魅力を発見することができます。

【OPEN】9:00-17:00



4 東院庭園

宴会や儀式を催し、現在の迎賓館のような役割を果たしたようです。日本古代都城の宮殿地区には例のない東の張出し部を持ちます。

【OPEN】9:00-16:30



5 推定宮内省

天皇家のために仕事する宮内省関係の役所と見られています。門、築地塀、建物を復原しています。

【OPEN】9:00-16:30

6 遺構展示館

発掘調査で見つかった遺構を発見当時の状態で保存、展示しています。

内裏や役所の復原模型を展示しています。

【OPEN】9:00-16:30

7 第一次大極殿

天皇の即位式や外国使節との面会など、国のもっとも重要な儀式のために使われていました。

【OPEN】9:00-16:00



8 平城宮跡資料館

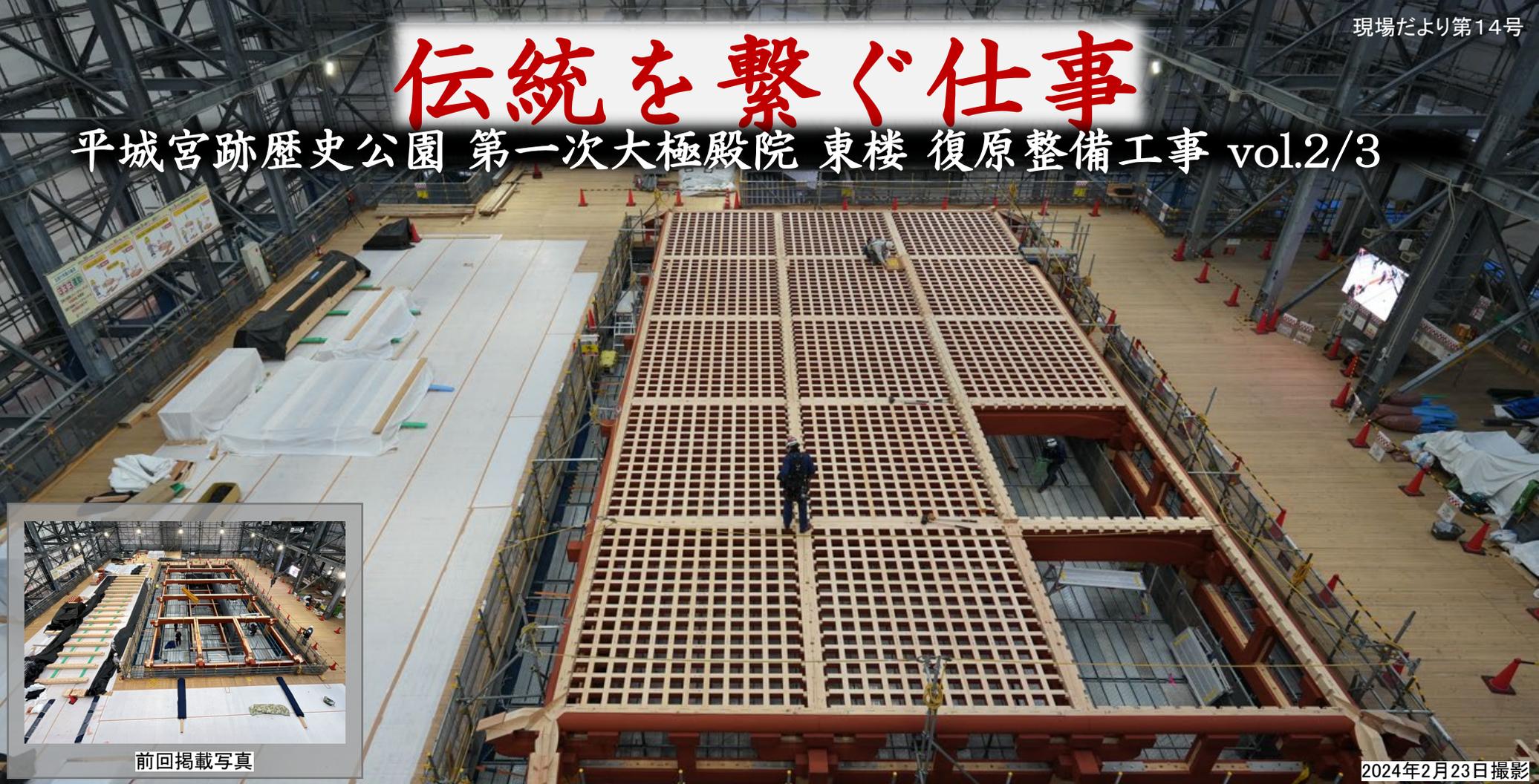
発掘調査・研究の成果をもとに、土器や瓦、木簡をはじめ、建物模型や航空写真、発掘のジオラマ模型などで平城宮を分かりやすく展示しています。

【OPEN】9:00-16:30



伝統を繋ぐ仕事

平城宮跡歴史公園 第一次大極殿院 東楼 復原整備工事 vol.2/3



2024年2月23日撮影

前回掲載写真

私が紹介します！



竹中工務店 大阪本店 作業所 建築担当
はしもと さとし
橋本 慧
2015年入社(35歳)
最近のニュース
フルサイズの一眼レフカメラを購入しました！

この特集は3部作構成の2作目です。

仕事への取り組み

伝統建築に携わる仕事に共通することは、1つひとつの建築部材すべてが違う表情を持つことです。その理由は木材や土壁などの材料1つひとつの違い、そして個々の職人の手の違いに因るものだと思います。
仕事で大切にしていることは、伝統の仕事特有のそういった違い・多様性を尊重しながらも、現代の価値観、水準を基にすることです。「当時の伝統建築」は、当時の最先端技術の粋(すい)だったのです。よって、伝統の仕事であっても、現代の安全基準・品質基準を全うしたり、最先端のデジタルツール等を活用して、「深化」し続けることが大事だと思います。

「魅せる！現場」で「知る」ことから、 伝統を一緒に繋ぎましょう！

現場に行くと日々驚きの連続です。木を組む時に
軋む音、塗装材料の作り方、瓦を何度も何度も
葺き直す、その徹底的なこだわり・・・。
百聞は一見に如かず。まずは多くの人が伝統
を「知る」ことが、伝統を未来に繋げる最初の一
歩だと思います。是非、「魅せる！現場」に来てく
ださい。私たちと一緒に伝統を繋ぎましょう！

私です。

魅せる！現場（第9回）小学生・保護者対象



丸桁（がぎょう）

斗（ます）：
この上に丸桁
が乗る

がぎょう ます
宮大工・丸桁、斗調整



ごぶん
塗装工・化粧裏板胡粉塗



瓦工・軒平瓦葺き



鷗尾（しび）原型

VRゴーグルで見ている、
3Dと原型を重ねた画面

VRゴーグル

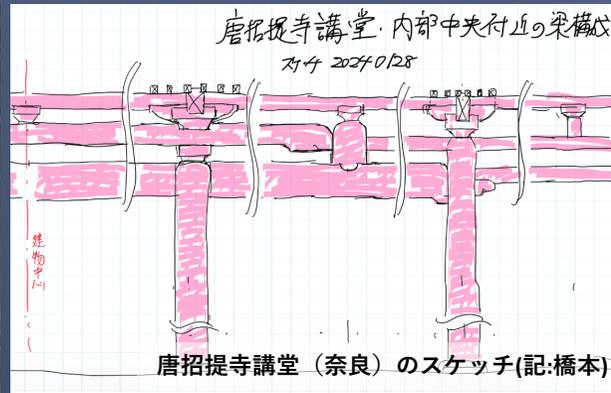
しび

鷗尾の検討・原型と3Dを組み合わせて検討

休日の過ごし方：プライベートも伝統建築・・・



瑞龍寺仏殿（富山）



唐招提寺講堂（奈良）のスケッチ(記:橋本)

私は休日も、全国の伝統建築を見て回っています。2023年は約60箇所
の伝統建築を訪ねました。写真を多く撮りますが、時にはスケッチをして建物の
特徴の理解を深めます。



平城宮跡・東楼復原工事 現場だより 第15号



奈良時代を今に感じる 伝統技能の継承現場

雀始巢（すずめはじめてすくう）

雀が巣を作り始めるころ。枯れ草や藁などで、屋根の隙間や瓦の下、雨どいなどに器用に巣を作ります。古くから日本人にとって身近な存在の鳥で、民話や童謡などにも登場しています。

さぁ行こう！～魅せる！現場～

魅せる！現場（特別公開）第10回 見学会

日時：令和6年3月20日（水・祝日） 午前10：30～ 午後13：30～

参加：各30名（計60名） 木曜日に行っている「魅せる！現場」を特別に祝日開催しました。

お子さんも大勢参加頂き、幅広い年代の方に参加して頂きました。



上棟目前！現場見学



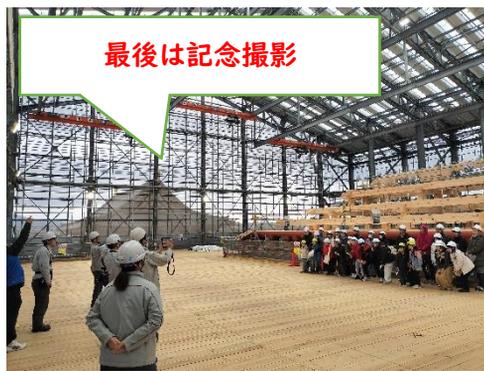
宮大工の実演見学



やりかんながけの削り木



宮大工・棟梁による解説



最後は記念撮影

■現場見学ガイド ～魅せる！現場～

～2024年12月末※（終了時期未定）

■申込みサイト

<https://www.kkr.mlit.go.jp/kengaku/moushikomi/moushikomi.html>

見学申込み

京都営繕事務所

